



海の便り



蒲郡ヨットハーバーの解体作業

長い間お世話になった旧蒲郡ヨットハーバー、ヨットハウスが解体されました。
3月ポイントレース時には新しい蒲郡市民マリン広場になっています。

会報目次

- | | |
|----------|---------------------------------|
| CHAPTER1 | 前 MCC 会長 市川氏を偲んで |
| CHAPTER2 | 役員会報告 |
| CHAPTER3 | レース予定及び 2007 年度 J S A F 外洋東海レース |
| CHAPTER4 | 会計報告 |
| CHAPTER5 | M C C 会費納入について |

行事予定

- | | |
|----------|--------------------------|
| 3月18日 | M C C ポイントレース |
| 4月1日 | J S A F 第 15 回三河湾周遊レース |
| 4月15日 | M C C 4月ポイントレース |
| 4月22日 | 三河湾スモールクルーザーレース |
| 4月21.22日 | J S A F 第 7 回東海スプリングレガッタ |
| 4月22日 | J S A F 第 8 回クラブ対抗戦 |

MCC前会長 市川氏を偲んで

MCC前会長市川氏は、かねてから療養中のところ投薬のいかなく2月2日に永眠されました。市川氏はMCC創立時から12年間会長職就任中はMCCのためご活躍いただき、その後も蒲郡ヨット連盟会長、エリカ保存会会長でもご活躍、ご指導いただきました。ご冥福をお祈り申し上げます。



市川さんを偲ぶ

J S A F 外洋東海 専務理事 都築

私の市川さんとの出会いは今から41年前、大学4年の秋、全日本学生個戦が三谷ヨットハーバーで開かれた時でした。

市川さんは愛知大学ヨット部監督でしたが、出身校が私と一緒に法政大学であったことからレース海面の特徴を熱心に説明していただきました。その結果、スナイプ級で4位に入ることが出来ました。

その後、大学を卒業して私は現在の高浜市に戻り、ディンギーからクルーザーに転向しました。旧NORC東海支部で市川さんと再会し、またいろいろお世話になりました。市川さんにはパールレースの実行委員長を何回もしていただきました。

現在のエリカカップヨットレースは、21年前に長江さんのエリカ号が蒲郡に帰港したのを受け、名古屋の事務局まで市川さんと現在の蒲郡市助役 足立守弘さんがわざわざ来られ「これを記念してレースを開催して下さい」とのことで、実現しました。

市川さんはここ数年は入院され淋しい日々を過ごされました。

喪主の方のお言葉にもありましたように2月2日天空へのセーリングに出港したことは誠に残念ですが、安全な航海を祈ります。

市川さんありがとうございました。

前MCC会長 市川さんを偲んで

MCC会長 中村

私が初めて市川さんを知ったのは昭和35年、蒲郡高校でヨット部に所属したとき現在の蒲郡市民会館、この地がまだ海で「コノジ」と呼ばれていた頃でした。

コノジには愛大のヨット部艇庫があり蒲高も同じ地でヨット部活動をしていました、このとき愛大ヨット部の監督をしていたのが近くで燃料店を営んでいた市川さんでした。

当時の愛大ヨット部には後に自作ヨット「白雲」で世界一周した現半田市長の榊原氏、ヨットレースプロテス

ト委員として永年活躍し現なごやジュニアヨットクラブ会長の二村氏なども在学中でした。市川さんはその後も10数年間は監督を務められ市川監督のもとで多くのヨットマンが育ちました。聞くところによれば部員のアルバイト先の紹介をするなど面倒見が大変良かったそうです。

コノジの一角には横山21が係留されておりこれが私の覚えでは「うらなみ」市川さんの所有と聞いていました。私が初めて見たクルーザーヨット、窓からキャビンを覗きいつかはこんなヨットで遊ぶんだ・・・、夢を与えてくれたヨットでした。

私たちグループが高校卒業後念願のクルーザーを手に入れた頃、蒲郡ヨットハーバー建設計画が始まり、市川さん宅に呼ばれハーバーのクルーザー係留計画の具申案をまとめた記憶もあります。その後、ハーバーが建設され岐阜国体後クルーザー基地としても活用開始、高度成長期でもありクルーザーヨットがどんどん増加、現在の三河湾クルージングクラブが創設され初代会長は市川さんをお願いし私は総務委員長でした。MCCは昭和48年の創立から市川会長のもと「より楽しくより安全に」のモットーで健全なクルーザーヨットクラブとして発展してまいりました。

世界一周後のエリカ号が蒲郡に帰港、エリカ号保存会が設立され初代会長に、記念してのエリカカップレース開催では蒲郡ヨット連盟、三河湾クルージングクラブ共同しての企画運営、市内企業の協賛から始めた手作りレースをNTT特別協賛の導入、NORC東海支部への移管などでヨットレース=エリカカップ 日本最大級のヨットレースへと発展させ海の街ヨットのメッカ蒲郡をアピールする一翼を担いました。

他にも日本チャレンジチームの誘致、運営協力等々蒲郡でヨットに関連することには必ず市川さんの力が働き、その人脈、知名度があつてのことでした。

昭和60年にはMCC会長を辞任しMCCは私に託されましたがその後もヨット活動には年齢を感じさせないものがありましたものの10年程前から入院し長い闘病生活が続き2月2日薬石の効なく永眠されました。享年90歳。この10年程は海から離れていましたが蒲郡のヨットマン、蒲郡で育ったヨットマンはどこかで必ずお世話になったと思います。

市川様の永年のご指導に深く感謝しご冥福を心からお祈りいたします。

.....

市川氏を偲ぶ

岩見（小栗）

私岩見は以前、『ヨット昔話』を寄稿（設立30周年・300号記念号）させていただきましたが説明不足がありましたので少し補足させていただきますと、ヨットに関わった当初は母方の跡継ぎとして養子に出ており小栗姓でしたが、昭和32年に岩見家に戻り岩見勇となりました。昭和19年に14歳で海軍予科練に志願（鹿児島県串良特攻基地に配属）し20年9月に蒲郡に復員し後述のヨットを保有した故尾崎氏、岡本氏などとは遊び友達です。鈴中工業に就職して現場監督をしていました。

戦後、風光明媚な蒲郡は蒲郡竹島一帯と沖の大島一帯が進駐軍の保養所として接收されており昭和27年に解除されたところが、私（小栗）と市川氏（大正6年生まれ90歳で2月2日永眠されました）との出会いの始まりです。

昭和27年、進駐軍の払い下げ24ftヨット『うらなみ』を親友故尾崎氏が個人で落札、蒲郡ヨット倶楽部に管理を委託されたところが最初の出会いでした。当時市川氏は観光課の担当係長か課長の職にあったかと思いません。

進駐軍の所有するヨットは数十隻あり、その受け皿として蒲郡ヨット倶楽部が実業家の支援で設立され（私も若輩でしたが設立に参加しました）、その際の町役場の窓口を市川氏（法政大学ヨット部の卒業生）がこなし、熱心に奔走されたと思います。この前後が『蒲郡のヨット史』が一步を踏み出したところで『蒲郡のヨット草創期』と言えましょうか。

早々に蒲郡高校にヨット部が創立され、市川、岡本、小栗（私）の3名が3年ほど指導にあたり、その一期生が清水氏、その後木村氏、井沢氏、蒲高黄金時代に引き継がれました。また、市制の導入を機に市川氏は町役場を退職され、尾崎氏の岳父の世話でプロパンガスの販売店を市川、尾崎、私の3名ではじめました。その後、尾崎と私が抜けて市川さんの家業となりました。

蒲郡で開催された、オールジャパンヨットレースにパロマ工業の名前で新艇を建造して実業団レースに市川

艇長、クルー私で参戦したこと、また、長距離レースの名古屋港 新舞子間のレースに『うらなみ』を名古屋まで回航して艇長市川氏と小栗（私）他 4 名で参加し優勝した思い出があります。市川氏は頑固で気強い先輩でしたが死去されたことは誠に残念です。謹んでご冥福をお祈りいたします。

今では、蒲郡といえばヨットの街ですが、私も戦後の良き成長期に、日本のヨットレジャーの草分け的存在の石原慎太郎一家の活躍と同時代に、この海の町・蒲郡で故尾崎の『うらなみ』岡本の『はまゆう』のクルーとしてヨットを楽しんだ一人です。市川勇氏をはじめ蒲郡のヨット先駆者と共に草創期の蒲郡のヨットの原点を見てきたように思います。

私も今は病床で、エリカ号の誘致で頑張った私の最愛の同志の岡本氏も病床です。蒲郡のヨット界を引き継いでくださる皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

.....

前MCC会長、市川さん亡くなる

うらなみ 近藤

1月22日、かねてより病氣療養中の市川さんが齢88で亡くなりました。

市川さんの三河湾におけるヨットへの貢献は多大なものがあり、特に東海地区のヨット黎明期の活躍は舵社刊行の「東海ヨット風土記」にもその名を散見することができます。その後も日本外洋帆走協会の役員を歴任し、ヨット設計者の渡辺さん始め、関東にも多くの知己が多く、中央とこの地区のパイプ役を果たしてきました。

アメリカズカップのベースキャンプも、かねてからのウォーターフロントの開発に熱心だった鈴木克昌県議（現衆議院議員）や蒲郡市役所と協力して、蒲郡への誘致にも成功しました。市川さんのヨット界への貢献を数え上げれば枚挙にいとまがありません。これまでの市川さんのご尽力に感謝するとともにご冥福をお祈りして、MCCの皆さんへの報告とさせていただきます。

MCC 役員会報告

場 所：海陽ハーバー会議室

日 時：平成19年2月18日12時から

出席者：各役員13名

平成18年度会計報告

佐々木会計委員長から別紙により決算案の説明があり承認された。なお、次のような補足がありました。

- ・ コンテナ2個を購入し、1個はMCCクラブハウスとして利用し、もう1個のコンテナはMCCの備品と5艇分の貸し倉庫として利用しています。(貸し倉庫年間使用料1棚1万円)昨年はペンキ塗り、換気扇取り付け等の整備を行いました。今年は電気を使えるように整備をいたします。
- ・ 海陽ハーバーと旧蒲郡ハーバーに日陰が無いため、中古のテントを2張り、固定用の杭等を購入して設置しました。
- ・ 年末のパーティーで参加者が少なくて約5,000円の赤字になりました。平成19年度の会計で補填いたします。

平成19年度レース等行事計画

昨年実績をベースに協議した結果別紙の様に決定しました。なお、次のような確認・協議でした。

MCCレース等

- ・ 開催日・レースコースは原則昨年どおり。
- ・ 昨年同様、旧蒲郡ヨットハーバーにて運営を行います。
(毎月のMCCレース前には掃除をいたしますので、ご協力をお願いします)
- ・ 昨年同様、レース後のアフターパーティーは蒲郡荘で開催します。ただし、今年からビールは出さずに、お茶を用意します。(ビールの欲しい方は自分の責任で用意してください)
- ・ レースに適用するレーティングはTSF(JSAF外洋東海)を準用します。
- ・ 5月・10月のチャンピオンシップはラグーナと合同で行います。5月20日はラグーナ・ラグナシア5周年記念と言うことで、ラグーナカップレースとして盛大に開催いたします。
- ・ 昨年のレース成績上位8艇に各レースのコミッティーを割り当てました。
- ・ 年末パーティー、参加者少なく淋しかった。参加者増加対策の検討が必要、レース参加艇の強制化等。

JASF 外洋東海

- ・ 8月5日のマリンカップ開催時に、三谷漁港で東海フェスティバルを開催します。
- ・ 4月22日東海スプリングレガッタにクラブ対抗レース(OP)があります。
- ・ 10月7日デニスコナーカップ(OP)にはチーム対抗があります。

その他

会報

- ・ 昨年3月からアンケート結果にもとづき、会報の郵送は中止してMCCのホームページに掲載することと致しましたが、今年は3月のみ各艇の代表者に郵送することとしました。
- ・ 今年から会報委員をアルミスの稲垣が担当いたします。記事の依頼を致しますので、よろしくお願いいたします。

ホームページ

- ・ 使いやすくするため一部リニューアルしました。
画像投稿掲示板のセキュリティーに関する脆弱性を改善するため、同掲示板を他のソフトと入れ換えました。また同時に総合掲示板もバージョンアップしました。こちらは表示切替機能等、使い勝手が向上しております。
- ・ MCCレース後の3月20日に中村会長、田中さん、石原さんが半年間のクルージングに出発する予定です。ホームページにホーネットの航海日記を設置しました。現地からのレポートにご期待下さい。
- ・ 「各書式」にMCCレース乗員登録及び海陽YH出港届の書式を用意しましたのでご利用下さい。

海陽ハーバーハーバーからの連絡

平成19年度理事長杯ヨットレース 平成19年8月19日(日)

海陽YH清掃活動(利用者のみ) 平成19年3月11日(日)

なお、清掃活動の集合時間等の詳細は後日連絡があります。



2007年度 三河湾クルージングクラブレース要領

2007.2.18 MCCレース委員会

	前 期				後 期			
レース名	3月ポイント	4月ポイント	春のチャル'オンシップ	MCCカップ(早朝)	三河湾周航(ナイト)	佐久島(早朝)	秋のチャル'オンシップ	11月ポイント
開催日	3月18日	4月15日	5月20日	6月17日	7月15,16日	9月16日	10月21日	11月18日
コース	S Wマーク 蒲郡No4 豊橋No3 蒲郡No4 Wマーク F	S Wマーク 蒲郡No4 豊橋No3 蒲郡No4 Wマーク F	ソーセージコース (2レース)	S 小島(東) 豊橋No1 梶島ブイ 豊橋No1 小島(東) F	S 小島(東) 豊橋No1 野島(西) 一色ブイ 生田鼻ブイ 小島(東) F	S 小島(東) 佐久島(西) 生田鼻ブイ 小島(東) F	ソーセージコース (2レース)	S Wマーク 蒲郡No4 豊橋No3 蒲郡No4 Wマーク F
直線距離	12.1 マイル	12.1 マイル	-	22.2 マイル	37.7 マイル	28.5 マイル	-	12.1 マイル
スタート	11:00	11:00(ランダムスタート)	11:00	7:00	23:00	7:00	11:00	11:00
タイムリミット	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00
出艇申告	艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前	艇長会議前
艇長会議	10:00	10:00	9:00	6:00	22:00	6:00	9:00	10:00
帆走委員長	セレスティータ 加藤	アルミス 稲垣	ダンシングビーンズ 安田	オデッセイ 伊勢谷	ベベ 水藤	マーメイドプリンセス 鳥居	ホーネット 中村	うらなみ 近藤

出艇料 会員艇は、5000円 非会員艇は、6000円

- 要領補足
1. 上記レースの実施要領詳細は、艇長会議にて帆走委員長が指示する。なお、コミッティー担当は、スタート10分遅れで参加できるものとする。
 2. 年間成績は、出場レースの内上位7レースの合計得点とする。なお、MCC非会員艇は、得点の対象としない。
 3. 各レースの得点は、1位を20点とし、以下は順位が下がる毎に1点づつ減じる。ただし、11位以下は、全て10点とする。また、1位には、1/4点を加算する。
*OCS・DNFの得点は、10点とする。*DNC・DNS・RET・DSQの得点は、8点とする。*コミッティー担当で出艇しない時は、5位の得点を与える。
*チャンピオンシップは、2レースの総成績による。(同順位、同得点有り)*修正時間システムは、JSAF外洋東海・TSFを準用する。
 4. 競技規則違反に対する抗議は、抗議書に抗議料(1000円)を添えて帆走委員長に申告すること。(抗議成立の場合は、抗議料を返還する。)
 5. レースに参加する艇は、小型船舶安全検査合格艇であること。適用規則は、このレース要領、RRSおよび帆走指示書とする。
 6. 各レースの帆走の安全については、各艇長の責任において充分注意し、事故防止に努めること。
 7. 原則として、レース終了後、16時から蒲郡荘にて懇親パーティーおよび表彰を実施する。
 8. 優勝艇は、レース記事を提出すること。(遅くとも1週間以内に会報担当：稲垣(アルミス)に送付のこと。)
 9. コミッティーには、ポイントレース：2000円、ナイトおよび早朝レース：3000円の弁当料を支給する。なお、チャンピオンシップは、負担実費を支給する。
 10. レース委員会は、レース委員長：鳥居(マーメイドプリンセス)、各レース帆走委員長で構成する。
 11. チャンピオンシップは他クラブとの共同開催とし、MCCのコミッティーは応援とする。

	MCC・ヨットハーバー行事日程	JSAF・その他レース日程
その他行事	4月15日(日) : ポンツーンパーティー(レース終了後) MCC 蒲郡荘	4月1日(日) : 三河湾周遊レース JSAF
	5月 日(別途連絡) : 鳥羽クルージング MCC	4月21,22日 : 東海ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾚｯｼﾞ JSAF
	7月29日(日) : 蒲郡花火大会観賞 竹島沖	4月22日(日) : 同上併催ｸﾞﾗﾌﾞ対抗ﾚｰｽ(三河湾) OP
	8月 5日(日) : 蒲郡マリンカップヨットレースと 蒲郡沖	5月 3日(祝) : 五ヶ所湾合同レース(衣浦-沖の瀬-神島西-五ヶ所) JSAF/OP
	東海フェスティバル・JSAF安全講習	5月27日(日) : エリカカップ (三河大島沖) JSAF/OP
	8月19日(日) : 蒲郡ヨットハーバー理事長杯レース	6月17日(日) : 伊勢湾合同レース(伊勢湾) JSAF/OP
	10月28日(日) : みやまつり 海中渡御観賞 三谷海岸	7月27-29日 : 鳥羽パールレース JSAF
	12月 8日(土) : 総会・表彰式・年末パーティー MCC 蒲郡荘	9月23日(日) : 伊勢湾マリンカップ(セントレア沖) OP
	ｽﾎｰﾙｸﾙｰｼﾞﾝｸﾞ-ﾚｰｽ : 4/22,5/20,6/24,7/22,8/19,9/30,10/21,11/25	10月 7日(日) : デニスコナーカップとﾁｰﾑ対抗ﾚｰｽ(三河湾) OP
		10月28日 11月3-4日 : 東海チャル'オンシップ JSAF

2007年度 JSAF外洋東海レースの日程と実施部門が決定しました。

2007年度 JSAF外洋東海レースの日程と実施部門が決定しました。

12月6日の第29回JSAF外洋東海理事会に於いて、下記のように、2007年度のレース日程と実施部門が決定しました。

パールレースはIMS・ORC・IRCの3部門で実施します。

IMSとIRCは、ダブルエントリーができるようにしました。

新規に採用の「IRCレーティング証書」取得の用意もできましたので、皆様早めに準備をして下さい。

2007年度 JSAF外洋東海レース日程と実施部門

月日	レース名	実施部門
4/1	第15回三河湾周遊レース	IMS・IRC
4/21・22	第7回東海スプリングレガッタ	IMS・IRC・オープン
4/22	第8回クラブ対抗戦	IRC
5/3	第32回五ヶ所湾合同レース	IMS・IRC・オープン
5/27	第21回エリカカップヨットレース	IRC・オープン
6/17	第27回伊勢湾合同レース	IMS・IRC・オープン
7/27～29	第48回パールレース	IMS・ORC・IRC
9/23	第12回伊勢湾マリンカップレース	オープン
10/7	第18回デニスコナーカップレース	オープン
	第6回チーム対抗戦	オープン
10/28	第32回東海チャンピオンシップレース	IMS・IRC
11/3・4	同上	同上

(注) IRC ; ノーマルで実施します。

オープン ; TSF方式で実施します。

平成18年度MCC会計報告

(平成 18年1月1日 ~ 平成18年12月31日)

収入の部		支出の部	
平成17年度繰越金	¥486,909	役員会費用	¥14,280
会費納入 (25艇)	¥116,000	会議室使用料	¥1,200
倉庫使用料 (4艇)	¥40,000	H17年度分会費出版費	¥9,170
計	¥156,000	会報、事務費	¥13,093
レース残金		JSAF外洋東海クラブ会費	¥20,053
3月 9艇	¥27,000	HP維持費(1月~12月)	¥16,380
4月 10艇	¥27,800	マリン広場会費	¥10,000
5月 6艇	¥18,000	エントナ購入	¥477,435
6月 9艇	¥25,000	エントナ整備費	¥25,239
7月 7艇	¥18,000	テント、杭	¥7,335
9月 9艇	¥24,000	レース賞品	¥131,110
10月 8艇	¥24,000		
11月 8艇	¥22,000		
計	¥185,800	計	¥725,295
利息	¥17		
レース旗	¥1,000		
計	¥1,017	繰越金	¥104,431
合計	¥829,726	合計	¥829,726

以上の通り御報告致します。

平成18年12月31日 MCC会計

MCC監査

MCC財産目録(平成18年12月31日)

郵便貯金	¥47,476
現金	¥56,955
エンブレム(@¥6,000) × 1	¥6,000
ネクタイ(@¥2,000) × 2	¥4,000
合計	¥114,431

MCC会費の納入について

各艇の年会費、1艇、4000円の納入をお願いします。
なお、未納分の精算等、具体的な納入額は同封の納入資料によりお願いいたします。
請求金額」欄に記載した金額の納入をお願いいたします。

振込先 (郵便貯金口座)

郵便貯金	通帳記号	番号
	12140	56346801
口座名	三河湾クルージングクラブ 代表 中村 孝	

振替 / 振込方法 (手数料はご負担ください)

- ・ 郵便貯金「ばるる総合口座」から振替。
- ・ 郵便局ATMによる現金振込。(1万円以下 60円)
- ・ 郵便振替電信振込依頼書」による現金振込。(1万円以下 100円)

振込みをされる時、「送金人住所氏名」欄には、**氏名の前に<艇名>**をご記入ください。

MCCレース(第3日曜日)等行事時にも入金受け付けいたします。

MCC 会計 北河

MCC会報の送付について

昨年からはMCCたよりの送付についてはホームページの掲載で省略してきましたが、種々検討の結果、今後は必要により年1回、または2回程度の郵送をすることとします。

役員名簿、会員名簿を同封します。会員名簿等は大事な個人情報です。会員間の連絡等にご利用いただき、取扱には注意いただくようお願いいたします。

新編集委員挨拶

この度、会報の編集委員を仰せつかりましたアルミスの稲垣です。皆様からのご支援、ご協力をいただき会報を充実させ、MCC盛り上げていきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

さっそく皆様をお願いします。今年こそはとクルージングを計画されている方、レースに参加される方、寄港した港に美味しいお店を見つけた方、どんな情報でも結構です。デジカメを忘れずに記事や画像の投稿をたくさんお寄せいただきますようお願い申し上げます。